

# 紫友同窓会会報



■編集発行人：鹿児島大学共同獣医学部 紫友同窓会 〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-24

■印刷：小野高速印刷株式会社

## 紫友同窓会 会長就任のご挨拶

紫友同窓会 会長 新納 時英  
(昭和44年卒)



紫友同窓会会員の皆さまに於かれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

私は、30年度評議員会にて西中川前会長の後任として会長に選出して頂きました。

今後は、西中川前会長が同窓会に注いでこられた思いを継承しつつ、同窓生の皆さま方のご支援とご協力を頂きながら紫友同窓会の発展の為、尽力してまいります。

さて、本年3月に共同獣医学部1期生が卒業いたしました。

全国各地より集まった学生が本学で得た専門的知識と技術を生かし、卒業後は臨床獣医師、公務員獣医師、民間企業等各職域や海外で活躍されることを確信しております。

新会員を含めこの会報が大切な情報交換の場となり会員皆様の絆が深まるよう各職域の近況等情報の提供を再度お願いする次第です。

また、今年度より本会は、共同獣医学部紫友同窓会として、鹿児島大学同窓会連合会に加入いたしました。他学部同窓会と連携しながら母校発展のために協力し、情報交換に努めてまいりたいと思っております。

最後になりましたが、改めて同窓会活動の趣旨にご賛同賜り、同窓会活動への積極的なご参加・協力と共同獣医学部の発展のためのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、会長就任のご挨拶といたします。

## 共同獣医学部の最近の動向

共同獣医学部長 宮本 篤  
(昭和57年卒)

会報第3号発刊より現在までの共同獣医学部の動きについて紹介させていただきます。3月には獣医師国家試験の結果が公表され、鹿大新卒者の合格率は96.7%と健闘しました。「鹿児島大が魚のお医者さん育成へ」と実習内容が新聞等に紹介され、共同獣医学部1期生が卒業し、高瀬公三先生が定年退職されました。4月には鹿児島大学共同獣医学研究科が、山口大学連合獣医学研究科を発展的に解消しながら、鹿児島大学10番目の大学院として新設され、1期生7名が入学しました。学部1期生が卒業したのを機に鹿児島大学同窓会連合会総会で紫友同窓会の入会が承認されました。5月には「獣医学部 実習は“脱生体”」と動物福祉への取り組みと「優良子牛増頭

へ鹿大と連携 受精卵センターが落成 徳之島町」と地域への取組とが新聞で紹介されました。6月にはドイツ・ハノーファーで開催されたEAEVE総会で山口大とのVetJapan Southが準会員として承認され、来年6月のEAEVEの正式訪問を受けることが可能となりました。7月にはSmith Henry Ivan特任准教授が大学院講義はもとより学部教育の一部英語化を推進するため着任されました。8月には「鹿大、奄美に獣医師派遣」と学部が世界自然遺産登録に協力する取組が新聞で紹介されました。10月には大学基準協会の獣医学教育評価実地監査（国内の第三者評価）を共同教育課程の学生卒業後、最初の獣

医系大学として受けました。結果はまだ公表されていません。この様に多くの事柄および改革が進行中です。引き続き、皆様方の暖かいご支援およびご鞭撻をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



学位記授与式後の第1期生



大学院開設を告知する懸垂幕

## 大学での教員生活を終えて

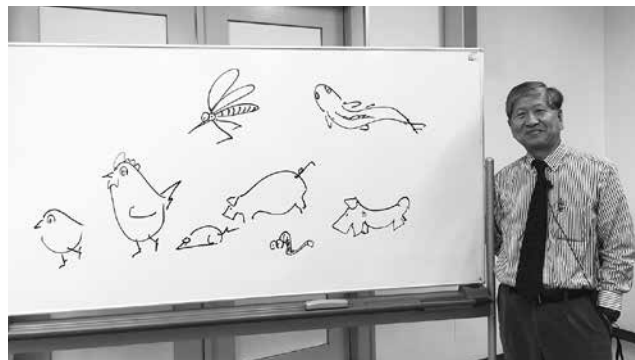
高瀬 公三(昭和50年卒)

今年3月末、18年間勤務した鹿児島大学を定年退職致しました。振り返ると、2000年5月、23年間勤務した熊本市の一般財団法人化学及血清療法研究所(今年7月から「KMバイオロジクス株式会社」)を退職し、母校鹿児島大学での助教授として教員生活をスタートしました。以来、毎日希望に満ちた若い学生達に囲まれながら、また多くの教職員の方々に支えられながら教育と研究に携わることが出来ました。お蔭様で、最初で最後となるであろう定年退職を迎えることが出来、また定年退職教員の特権?でもある最終講義もさせていただきました。大勢の方々にいろんな形でお世話になり、皆様に心から感謝です。

この間、いろいろな思い出がありますが、最も強く残っているものは獣医学部の誕生でした。農学部から独立し共同獣医学部となり、獣医学教育の更なる発展へと踏み出した時期に教員として関わったことは、私にとってこの上ない貴重な経験でした。退職後も、この共同獣医学部がわが国の獣医学教育の中で今後どのように発展していくのか、

他大学の手本となり、また牽引役として更に発展されんことを期待し見守っていきたいと思っています。

この学部誕生には紫友同窓会の支援も大きな力となりました。当時、教員として同窓会の有難さを心から感じておりました。私の定年退職が奇しくも新学部学生1期生の卒業と重なったことも感慨深いものがありますが、これからも卒業生たちが同窓会の会員として、学部発展の支援や会員相互の親睦に加わってくれることを期待したいと思います。私も微力ながら参加させていただく所存です。



最終講義で描かれた動物の絵と高瀬会員

## 東西南北同窓会・同窓生便り

### 昭和58年・59年入学合同同期会

畠中 五恵子(昭和62年卒)

去る7月15日、58入(昭和58年入学組の通称)と59入の合同同期会を鹿児島中央駅前の東急REIホテルにて行いました。

参加23名の中には卒業以来30年ぶりの再会というケースも珍しくなく、また同期会に先立って行った有志での共同獣医学部施設見学ではあまりの先進ぶりに驚愕させられ、在学時とのギャップの大きさに時の流れを感じざるを得ませんでした。

途中それぞれLINEアカウントの交換をし、次回の同期会での再会を約束してお開きとなりましたが、58入のLINEグループもできましたので、欠席された方は是非帆保教授までご一報を!



### 院長引退後の過ごし方

甲斐 みちの(昭和61年卒)

平成5年に岡山でわずか9.5坪のやさか動物病院を開院し、院長として頑張ってきましたが、平成27年秋から大学時代皆さんにお世話になった息子太郎に院長を譲り、ヒラの獣医師(みちの先生)となりました。

診療を半分程度に減らし、好きなテニスやゴルフをしながら悠々自適な生活を送るはずでした。が、いざゆっくりしてみるとあまり楽しいことをしてもそれほど情熱を持って過ごせないことに気がきました。年の差が息子とあまり

ないので、こちらもそこまで老いていないせいもあるのかもしれませんが、元来忙しく過ごしていたのでなかなかペースがつかめなくて、何をしていたかよくわからなくなっていました。

そんな時、岡山で開

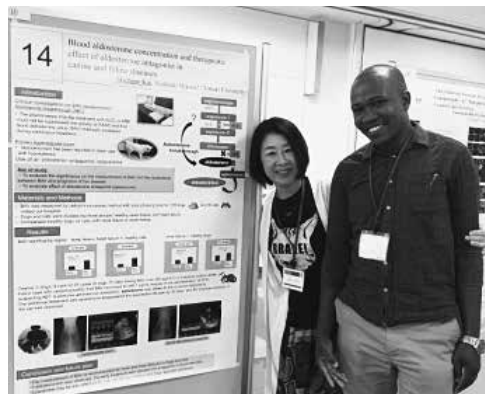


開院当時の様子



業している友人が大学院へ行って楽しい話を聞かされ、たまたま岡山に来られていた鳥取大学の日笠喜朗先生を紹介してもらい、連合獣医学研究科を受験することになってしまいました。

ドキドキした大学院受験の日、若者だらけの会場に鹿児島大学で同級生だった米重隆一君の顔を見て少しリラックスした状態で受験できたせいか、無事大学院生になりました。留学生との会話や英語の授業に対応するようにNOVAに通うようにもなりました。脳の老化は確実に進んでいますが、もう少し足掻きながら人生を楽しんでいきたいです。



連合大学院セミナーのポスター発表

## 同窓会活動便り

### ◆学部第1期生巣立つ！

共同獣医学部となって最初の卒業生が3月23日社会へ巣立って行きました。折しも学部がEAEVEという国際認証を取得することをスタートさせた年に入学した彼らを、教員側もEAEVEの教育内容に合わせた授業・実習に変えるという手探り状態で教育を進めましたが、国家試験も全員合格という結果になり、この取組みが良い方向に向かっていると感じられます。この1期生の卒業を祝して、同窓会は学部及び学生会と合同で「卒業記念パーティー」をジェイドガーデンパレスで開催しました。同窓会からは西中川会長（現顧問）と新納副会長（現会長）が出席して卒業生の門出を祝福しました。写真は卒業生を交えた出席者の集合写真です。



### ◆鹿児島大学同窓会連合会に加入

平成30年度の鹿児島大学同窓会連合会総会が4月7日に城山観光ホテル（当時）で開催され、学部1期生を輩出したことを機に紫友同窓会も学部同窓会として連合会に加入することが諮られ、満場一致で承認されました。本会は他の同窓会に比べて規模は小さいですが存在感を示していきますので、会員各位の支援・ご協力をお願いします。総会後には懇親会が開催され、総勢約200名が参加し、学部を超えて交流がなされ、大いに盛り上がりました。写真は今回参加した8名が同窓会紹介で登壇した時のものです。来年はより多くの会員が参加して下さるようご協力をお願いします。

### ◆ベストクラスメート賞

同窓会は、卒業生の中からクラスの取りまとめを最も熱心に行った男女各1名を、ベストクラスメート賞として毎年表彰しています。平成29年度は、半田祥郎会員、大原優美子会員でした。



### ◆奨学寄附金等の贈呈

平成30年度は、鹿児島大学進取の精神支援基金に100万円の奨学寄附金を贈呈しました。

## ◆会計報告

平成29年度の一般会計収支決算書（平成30年6月16日の評議員会で承認）の概要を表に示しました。収入3,203,708円に対し支出1,166,933円で、2,036,775円が繰越額です。なお、平成29年度学術基金の収支決算では、収入5,235,321円に対し、339,913円の支出があり、4,895,408円が繰越額となっています。

平成29年度の一般会計収支決算書 (単位 円)

会計	項目	決算	
収入	繰越額	2,033,019	
	会費	859,172	
	学生会費	260,000	
	入会金	1,500	
	雑収入	17	
	繰入金	50,000	
	合計	3,203,708	
	支出	会議費	112,320
		印刷費	10,264
通信費		574,749	
寄附費		89,686	
人件費		116,150	
卒業記念祝賀会		100,000	
その他		163,764	
合計		1,166,933	
繰越し	(収入 - 支出)	2,036,775	

## ◆会費等納入のお願い

同窓会の収入は、会員諸氏による年会費（1,500円）及び学術基金（寄附金、一口500円）から成り立っています。今回から年会費と学術基金をセットにしたコンビニ用の専用振込用紙も同封しましたのでご利用ください。皆様からの浄財は、会費発行や共同獣医学部への支援等に大切に使用させていただいております。今後とも同窓会活動へのご理解・ご支援と共に、会費等納入をよろしくお願い申し上げます。

## ◆学部教員の異動 (発令日順)

新任：藤本 佳万 准教授（動物微生物学 H30.4.1）  
Smith Henry Ivan 特任准教授  
(共同獣医学研究科 H30.7.1)  
昇任：田仲 哲也 教授（感染症学 H30.2.1）  
高橋 雅 准教授（動物病院 H30.10.1）  
岩永 朋子 特例助教（動物病院 H30.4.1）  
井尻 萌 助教（TADセンター H30.4.1）  
退職：高瀬 公三 教授（動物微生物学 H30.3.31）

## ◆お慶び 益々のご活躍をお祈りいたします。

市居 修会員（平成18年卒）：第161回日本獣医学会学術集会において、「新たな腎病態マーカー分子の発見と臨床獣医学への応用に関する研究」で日本獣医学会賞を受賞しました。  
畠中五恵子会員（昭和62年卒）：養鶏の友に長年連載中のエッセイを取りまとめた「たまごや二代目五恵子の直売日記」が日本畜産振興会より刊行されました。

## ◆同窓会役員

会長交代に伴う現役員名簿は下記のとおりです。

顧問	西中川 駿(36)		
会長	新納 時英(44)		
副会長	梶 哲郎(44)	鶴田 勉(49)	
	宮下 善穂(50)	松元 光春(55)	
監事	石黒 茂(41)	伊地知洋幸(54)	
	吉満 文隆(57)		
評議員 選出母体 学外	県畜産課	渡邊洋一郎(60)	福重 哲也(03)
	県生活衛生課	西屋 秀樹(12)	
	畜産試験場	佐々木幸良(58)	
	中央家保	保 正明(02)	
	県食肉検査所	姫木 学(60)	
	市保健所	川原 成明(61)	
	市食肉検査所	田邊 隆(60)	
	市公園公社	石堂 昭憲(50)	
	経済連	川畑 忠祐(13)	
	開業	上村 利也(02)	
	一 般	松元 計士(36)	坂本 紘(40)
		永野 保任(41)	安田 宣紘(43)
		田原 健(45)	高橋 亘(46)
		櫻井 幹男(51)	北野 良夫(52)
		紺家 亮爾(52)	山下 静馬(53)
		上村 裕子(56)	西田 浩二(56)
徳田 祐二(57)			
鹿大医	川口 博明(07)		
評議員 選出母体 事務局	宮本 篤(57)	三角 一浩(61)	
	帆保 誠二(62)	小尾 岳士(02)	
	窪田 力(02)	藤木 誠(07)	
	畠添 孝(08)	三浦 直樹(09)	
	矢吹 映(09)	安藤 貴朗(13)	
	高橋 雅(16)	一二三達郎(22)	
	古澤 悠(24)	蔵元 智英(27)	

## ◆訃報 謹んでご冥福をお祈りいたします。

川崎 安亮(賛助) 岡本 嘉六(賛助)  
吉永 政和(49) 森園 充(22) 平木 一守(22)  
福山 孝人(35) 西橋 盛孝(20) 岩下 彰郎(30)  
上野 計(22) 鳥取 通弘(33) 木下 祐一(12)  
豊田方 稔(31) 西俣 睦男(26) 田中 幸穂(19)  
蔵元 秀樹(57) 中園 明(23) 竹内 正郎(23)  
柳田 功(25) 鈴木 達郎(42)  
(敬称略：平成29年4月～平成30年10月末にご逝去)

## 編集後記

昨今は地震、集中豪雨等の大きな自然災害が毎年発生し、会員の中にも被災された方々がおられることを思うと胸が痛みます。このような不測の事態に備えて様々な準備・対策を立てておく重要性を痛感しています。さて、今年も会報をお届けする時期になってきましたが、今回は年内にお届けできることになりました。会報は皆様からの情報提供の場としてこれからも発信していきますので、同期会や支部会のお便りをお寄せください。

## 連絡先

鹿児島大学共同獣医学部解剖学研究室内  
紫友同窓会(事務局)  
TEL：099-285-3538/8711 (FAX 兼用)  
E-mail：k2088185@kadai.jp  
(お願い：出来るだけ FAX またはメールをご利用ください)